

情報科

教科名	情報	科目名	社会と情報
科目の目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに、効果的にコミュニケーションを行い、情報社会に積極的に取り組む態度や能力を身につける		
履修学年	2年	類型	全類型
単位数	2単位	履修形態	必修
教科書	東京書籍「社会と情報」(社情310)	副教材等	東書 社会と情報 学習ノート

①学習の目標

- (1) 情報通信ネットワーク上のルールやマナー、情報安全性などに関する基礎的な知識と態度を身につける
- (2) 情報手段の基本的な仕組みなどについて理解する
- (3) 情報通信ネットワークの特性をふまえ、情報の受発信に関する基礎的な知識を身につける
- (4) 情報機器を適切に活用できる知識と技能を身につける

②学習内容と授業の進め方

「理論」で情報や情報通信ネットワーク、マナー等の基本を学び、「実習」で情報機器を活用して課題を解決するための実践的な技術や知識を学びます

③学習に当たっての留意点

授業を大切にし、常に課題意識を持って取り組んでください。
「実習」では様々な角度から課題解決に取り組んでください

④評価の観点

- | | |
|---------------------|--|
| (1) 関心・意欲・態度
【関】 | 情報や情報社会に関心を持ち、課題解決に向けて自ら情報や情報機器、情報ネットワークを積極的に活用できる |
| (2) 思考・判断
【思】 | 情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに、情報モラルを踏まえて、身の回りの問題を解決するために思考を深め、適切に判断し表現できる |
| (3) 実習の技能表現
【技】 | 情報機器や情報通信ネットワークを目的に応じて適切に活用することができる |
| (4) 知識・理解
【知】 | 情報機器や情報通信ネットワークに関する仕組みを理解し、情報社会を生きるための必要な情報の意義や役割を理解している |

⑤評価の方法

定期考査、課題の提出状況や完成度、内容などを総合的に評価する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	・情報とメディア	オリエンテーション ・メディアの種類と特徴	【関】・【知】メディアと評価の関係について理解した
5	・信頼できる情報 【実習1】	・情報の信頼性の評価 ・コンピュータとキーボードの基本操作 ・簡単な文書の作成 ・インターネット検索の基礎	
6	・情報のデジタル表現 ・情報の表現と伝達	・デジタル表現の種類と利点や問題点 ・コンピュータによる情報伝達の特徴 ・情報の整理とメディアの選択	【知】アナログとデジタルの特徴を理解した 【知】・【思】情報を整理し、目的に応じてメディアを選択できる
7	【実習2】	・表計算ソフトの基本	【技】基本的な表を作成できるようになった 【技】・【思】目的によって関数やグラフを活用できるようになった
8 ～ 9	・効果的なプレゼンテーション 【実習3】	・プレゼンテーションの重要性 ・プレゼンテーションソフトの活用方法	【関】・【思】内容を分かりやすくなるように工夫している 【思】・【技】効果的な方法について工夫している 【技】目的に応じたスライドを作成できる
10	・インターネットの仕組み ・メディアの発達	・インターネットや電子メールの仕組み ・メディアの発達のインターネット上のメディア	【関】・【知】インターネットや電子メールの仕組みを理解し、適切に活用することができる 【知】メディアの種類について理解した 【関】・【知】インターネット上のコミュニケーションの特性について理解した
11	【実習4】 ・情報化の影響と課題	・画像編集 ・情報犯罪と安全対策	【知】・【技】画像ファイルの特性を理解し、適切に編集することができる 【知】情報の安全対策について理解した
12	・情報モラル 【実習5】	・著作権と著作権法 ・カードとシールの作成	【知】著作権について理解した 【関】・【技】さまざまな技術を応用し、カードと氏名シールを作成する
1 ～ 2	・社会における情報システム	・情報システムの種類 ・情報システムの発展	【知】情報システムの種類と特徴について理解した
3	・情報システムと人間 【実習6】	・情報システムの問題点と対策 ・作品制作	【知】情報システムの問題点と対策について理解した 【関】・【思】・【技】・【知】学習した内容を基に作品を作成する

